

介護で、笑顔。

ささえたい

sasaetai

SAGATV

毎週火曜日21時54分～

県内の介護現場には、介護のプロとして仕事に誇りを持ち、いきいきと仕事をし、きらきらと輝く方がたくさんいらっしゃいます。そんな介護現場で輝く方を紹介したい！という思いから、佐賀県では介護職応援ミニ番組「ささえたい～介護で、笑顔～」を制作、放送しています。

介護の魅力いっぱい、笑顔いっぱいの番組となっておりますので、ぜひご覧ください！

介護で、笑顔。

ささえたい

sasaetai



「ありがとう」を、やりがいに。



「ありがとう」を、やりがいに。

介護や福祉の世界で働く人々を紹介する「ささえたい」の第2弾。

今回も、さまざまな方に仕事の魅力をうかがいました。

お話の中で感じられる、やりがいや喜び。

そして、みなさんに共通する、あたたかい笑顔。

「ありがとう」という言葉が身近にあふれる職場で、

ケアが必要な方の心身を支えている12名を紹介します。

私は介護支援専門員兼介護福祉士としてケアプランの作成だけでなく、現場での介助にも携わっています。新人の頃、仕事に悩んだ時期があったのですが、ご利用者様の「あなたがおらんとダメ」という言葉に救われました。そうにご利用者様の人生に関わりながら、私自身成長できている気がします。仕事をして「ありがとう」と感謝される職業って限られていると思いますが、介護職はその一つですし、仕事に誇りを感じます。



特別養護老人ホーム シルバーケア吉野ヶ里 田中 康章

私はもともとおばあちゃんっ子で、学生の頃から施設でのボランティア活動など、高齢者とふれあうことが好きでした。だから自然と介護の世界に入った感じですね。ふだん心がけているのは、ご利用者様とどんなに親しくなっても、ていねいにお声掛けること。一人ひとりのご家族の立場になってお世話が大切だなと感じます。ご利用者様の笑顔を見るだけで楽しいですし、日々やりがいを感じながら仕事していますよ。



特別養護老人ホーム 鳳寿苑 山崎 真由香

人と関わりながら、絆が生まれていく。

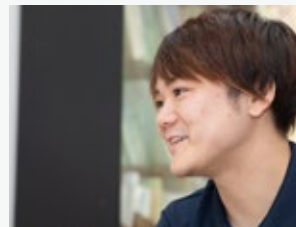
私は社会福祉士として、ご利用者の相談・支援を行います。現在は現場でも経験を積んでいます。その際にいろいろとお話をするのですが、最初はお自分のことをなかなか話してくれない方も、趣味の話などをしていくうちに心を開いていただき、現在では「いつもありがとうございます」と言っていたけりになりました。この仕事の良さは、人と接していく中で絆が生まれること。今後は現場での経験を活かし、社会福祉士としての業務に携わっていききたいです。



特別養護老人ホーム ケアポート晴寿 小野 出

仕事をする上で大切なのは人間力。

私は大学までは保育士を志望していたのですが、介護の実習に行ったときにやりがいを感じて。ご利用者に笑顔で「ありがとう」と言ってもらえて、私のほうが救われた気持ちになったんです。職に就いた現在もご利用者は自分を孫のように接してくれますよ。まだまだ技術面で学ぶことも多いのですが、この仕事をする上で大切なのは人間力だと思います。だから素直な心など、人として大事な部分を忘れずに成長していきたいです。



介護老人福祉施設 なごみ荘 小野田 裕己

主任介護
支援専門員

一人ひとりに寄り添うケアプランの作成を。

主任介護支援専門員は、直接的な介護を行うのではなく、ご高齢の方の自立した生活のためのケアプランづくりが主な仕事です。また、私は主任の介護支援専門員でもあり、他の介護支援専門員への指導や、高齢者の方を地域で支える仕組み作りにも携わっています。ご利用者様一人ひとり考え方は違いますし、その方のこれまでの人生をふまえてケアマネジメントすることが大切だと感じます。みなさんに「相談してよかった」と思ってもらえるよう、今後がんばりたいです！



好日の園 居宅介護支援サービスセンター 乙坂 紀成

介護福祉士

特別なことをしている意識はありません。

中学生の頃からお年寄りのお世話をするのが好きで、この世界に入りました。ご利用者様に対して特別なことをしている意識はありません。食事、お風呂、トイレ、私たちが毎日やっていることを、すこしお手伝いしているという感覚です。ご利用者様の笑顔が、私の喜びですね。以前、100歳を越えた入所者さんを看取ったことがあり、私も悲しかったのですが、ご家族から「ありがとうございます」と言ってもらえて仕事のやりがいを感じました。



特別養護老人ホーム ひいらぎ 中山 美咲

介護の世界で働くのは、私にとって癒しです。

私は一度介護の現場をはなれて美容の仕事に就いたことがあります。その時期に高齢の女性にメイクをさせていただいた時、笑顔で「ありがとう」と言ってもらえて、「私はこのありがとうが欲しかったんだ」と感じ、ふたたび介護の道へ進みました。現在は出勤するとご利用者様に「おかえり」と声をかけてもらうので、本当に家族のようです。この仕事はキツイというイメージがあるかもしれませんが、私にとっては『癒し』ですよ。



特別養護老人ホーム 光風荘 池田 笑美



ありがたい言葉が仕事の励みになる。

私は介護福祉士としてご利用者様に気持ちよく生活していただけるよう心がけています。髪をとかしたり、お顔や手を拭いたり、身だしなみも丁寧に整えます。もし自分の家族が施設に入って、髪がボサボサだったら良い気分ではないと思うので。また買い物や外食など、ご利用者様が「やりたい」と思われることをお手伝いすると「ありがとう」と本当に感謝してもらえます。その笑顔が、自分にとっても仕事の励みになりますね。



特別養護老人ホーム 岬荘 坂本 一平



いつも笑顔大切に。この仕事は楽しいです！

介護の世界に入って10年。現在はデイサービスでご利用様が1日を楽しく過ごしてもらえるようにお世話します。ご利用者様から「ここが一番よか！」「あなたが休みだったからさみしかった」などと言ってもらえると、仕事のやりがいを感じますね。ここは「楽しく過ごしていただく」場所なので、いつも笑顔で接することを心がけています。ご利用者様との会話の中で学ぶことも多いです、楽しんで仕事していますよ。



特別養護老人ホーム 潮荘 辻村 東亜子

ご利用者様の「ありがとう」を実感できる仕事です。

私は高校生のときに、いろいろなボランティア活動をしていて、ケアセンターに伺う機会もありました。その施設で清掃したり、ご利用者様と接した経験が、介護の世界に興味を持ったきっかけです。介護福祉士の仕事は、ちょっとした思いやりや声掛けでも、ご利用者様から「ありがとう」と言ってくれます。「感謝」を実感できる仕事ですね。これからも笑顔を忘れずに、ご利用者様と家族のような関係を築いていきたいです。



養護老人ホーム けいこう園 真島 百恵

あたたかい気持ちで転職のきっかけに。

私は10年ほど前に介護の世界へ転職しました。母が認知症になり、自分でも知識を持とうとホームヘルパー2級の資格を取りに行ったことがきっかけです。介助の実習のときに、あたたかい気持ちになれたんです。それに楽しさも感じられたので、仕事として介護の道に進みました。私たちの施設では男性のご利用者様が増えてきて、男同士の話で盛り上がることも多いです。男性のみなさん、介護の世界でいっしょに働きましょう！



シニアライフ SORA 井上 朗司



ご利用者様の毎日の暮らしが輝くように。

子どもの頃からおじいちゃん、おばあちゃんが大好きでした。そんなおばあちゃんが認知症になり、学生だった私は何もしてあげられなくて。その経験が介護の世界に進もうと思ったきっかけです。私たちのケアハウスでは日常生活の介助はもちろん、ご利用者様と一緒にお菓子をつくったり、秋祭りなどの行事も多いですよ。ご利用者様の暮らしが輝くように「どうすれば楽しんでもらえるかな」と、いつも考えながらお世話しています。



ケアハウス大地 諸富 貴永

